

行政 トピックス



沿線地域の住民の声を集め
利便性向上につなげてゆく

— JR に対する要望活動 —

JR 園部駅以北の各駅での
ICOCAなどのICカードシス
テムの導入や勤務時間、活動時間
の多様化による深夜運転などを望
む沿線住民の声が高まる中、山陰



▲三輪正稔JR京都支社長(右)に要望

本線京都中部複線化推進協議会
の会長を務める佐々木市長が、JR
に対する要望活動を行いました。
協議会は南丹市、亀岡市、京丹波
町で構成されており、3月9日は
JR 京都支社を、また29日には同
福知山支社を訪問し、両支社長へ
要望書を手渡しました。

要望書では、京都中部地域が昨
年の京都丹波高原国定公園の指定
や森の京都などで注目を浴びる
中、定住や地域振興を図る上で、
電車は人の流れの増幅に欠かせな
い交通機関であるとして、JR 園
部ー綾部駅間の複線化や朝夕の時
間帯の増発、ICカードシステム
などの導入が盛り込まれています。



▲前田洋明JR福知山支社長(左)へ

災害の時に何ができるのか
東日本大震災の日に考える

—平成28年度 地域防災講座—

3月11日、南丹市社会福祉協
会が主催する地域防災講座が、日
吉町生涯学習センターで開催され
ました。前半は京都府災害ボラン
ティアセンターの東直美さんによ
る講演が行われ、大規模災害時の
支援者と被災者をつなぐ「リエゾ
ン(連絡員)」が必要であると話さ
れました。後半のグループワーク
では、東日本大震災の体験を基に
作られたカードゲームや災害時に
生かせる自分の特技や能力につい
て意見交換が行われました。



▲グループで意見を出し合う参加者

各種犯罪を抑止し、市の治安を
維持することを目的に防犯カメラ
を設置し、3月から運用を開始し
ています。

人口密度が低く、市域が広大で
防犯ボランティアや警察の見回り
にも限界があるなどの南丹市の現
状が、カメラ設置の契機となりま
した。

カメラは、京都縦貫自動車道園
部IC付近とJR 八木駅付近の
国道9号、JR 日吉駅、胡麻駅に
計4台新設しました。

—平成28年度南丹市
防犯カメラ設置工事—

防犯強化し安全安心を守る



▲JR八木駅付近の国道9号に設置した防犯カメラ(右)と防犯カメラの設置を示すステッカー(左)